

# 平成 20 年度 事業報告書

平成 23 (2011)年の創立100周年を見据え、〈建学の精神〉と〈教育方針〉を基調として、歯科総合学園たる本学のさらなる発展を目指し、以下の計画を実行した。

## 【3つの基本方針】

〈財政基盤の改善、強化〉、〈教学資質の改善、向上〉、〈中核人材の育成、支援〉の3つの基本方針を根底にして、以下の諸事業を展開した。

- I. 大学運営
- II-a. 教学 - 教務部・学生部
- II-b. 教学 - 研究 (大学・大学院)
- III. 附属病院
- IV. 教員組織改正に伴う対応
- V. 情報化、IT化、市民との交流への対応
- VI. 両専門学校の将来像
- VII. その他の重点計画

## I. 大学運営 (管理・運営)

### 1. 支出経費の削減

平成 16 年度から平成 20 年度の 5 年間、大学の方針として具体的な数字を提示して支出経費の削減を関係部署に指示し、予算委員会および監事監査等の尽力もあり、多くの部署において経費削減への努力がなされ、5 年間で総額約 1 億 9,800 万円が削減された。この間、大学の事情による報酬委託費の増加 (人材派遣・管理コンサルタント等) および平成 19 年度からの新病院情報システムの費用を控除すると、事務各部署単位において総額で約 5 億

6千万円が削減されたことになる。これを大学単位で見ると、学部のカリキュラムにおける関係予算等の中で、平成16年以降に新たに予算化され増加した項目もあるので、平成15年度の決算額と比較して前頁の控除額を差し引くと総額で約4億8千万円削減されたことになる。大学の趣旨が関係部署に理解され、経費削減において一定の成果を上げることができたといえる。

平成20年度は、前年比3%の経費削減を要請し、決算額において約1億3千万円が削減された。今後とも、大学の財務安定化・適正化のため、関係部署の持続的な経費節減を行う。

## 2. 給与規程等の改正・定年年齢の改定

給与規程等の改訂が昨年達成され、ここ2年間で総人件費が抑制されたことに伴い、大学の財務状況も改善されてきている。また、定年年齢の改定も実施する段階になってきている。

## 3. 大学入試制度の改革と学納金の引き下げ

18歳人口の減少により、大学等の高等教育機関は、受験生確保が困難となってきた。このような状況に鑑み、入学志願者の増加を目指す施策の一環として、以下の改革を行った。

### ①一般入学試験日程（前期・後期）の実施

一般入試日程の区分を前期・後期に改め、受験機会の複数化と入学志願者確保を図った。一般入試において、学力試験時間の短縮を行い、従来の2日間から1日で学力・面接両試験が終了するように改めた。

また、試験方法の大きな変更はないが、面接試験について、これまでの個人面接から数名によるグループ討論に形式を変更した。

○推薦入試           試験日   平成20年11月29日（土）

募集人員   18名（前年度募集   28名）

○一般入試前期       試験日   平成21年2月3日（火）

募集人員   100名（前年度募集   100名）

○一般入試後期       試験日   平成21年3月14日（土）

募集人員   10名（新規募集）

## ②学納金の引き下げ

「授業料を大幅に減額し、学力、教育力を向上させ、温かい人間性を涵養する」との基本方針のもと減額を行った。

○入学金（入学時のみ）	600,000円（変更なし）
○教育充実費（入学時のみ）	3,900,000円 （変更前5,900,000円）
○授業料（年額）	3,800,000円 （変更前4,000,000円）
○施設維持費（年額）	700,000円 （変更前1,500,000円）
○入学時学納金納入額*	6,750,000円 （変更前9,250,000円）
（*入学金、教育充実費、授業料前期分、施設維持費前期分の合計額）	
○6年間学納金納入総額	31,500,000円 （変更前 39,500,000円）

以上の学納金の改定に伴い、平成21年4月1日付けで「大阪歯科大学学則」の変更を行った。

上記の関連事項として、平成21年度入学生から特待生制度を改め、当該年度の授業料100万円免除とした他、教職員子弟の授業料減免措置を廃止した。

## 4. 「五つの力（りょく）の目標」の制定

平成20年度の各事業計画にも反映することと合わせて、本学創立100周年を迎えるにあたり、諸改革を行っていく機運を高める契機として、制定された。

優れた建学の精神に加え、本学の目指す歯科医師像・人間像として要となる目標である。

### <五つの力（りょく）の目標>

- ・ 募集ブランド力の回復
- ・ 学力の向上
- ・ 教育力の向上
- ・ 人間性涵養力への注力
- ・ 教員人材育成力への注力

## 5. 教職員の「兼業」の適正化

本学に勤務する教職員は、教育、学術研究、医療業務、事務及び用務並びに、その他の関連諸職務を遂行するに当たっては、職務の向上、改善に努めなければならない。兼業の適正化により職務専念義務の徹底を図るとともに、学生教育の低下及び病院収入の低下を防ぐ。具体的な方策については、継続的に審議していく。

### II-a. 教学 - 教務部・学生部

#### 1. 受験生の増加策と入学生の学力向上策

今年度のオープンキャンパスを楠葉学舎において、以下の日程で開催した。

- ・ 第1回 平成20年7月29日(火)午後1時～午後4時 51名参加
- ・ 第2回 平成20年8月25日(月)午後1時～午後4時 73名参加
- ・ 第3回 平成20年11月2日(日)午前10時～午後12時30分 63名参加

#### 2. 在校生の学力向上と卒業資格

在校生の学力向上(CBT、OSCE実力の向上)については、本学独自のカリキュラムの特徴を生かした継続的な取組みを行う。

卒業資格(学士Ⅰ、Ⅱ)試験の合格基準の引き上げについては、これを実施して一層の「学士力」を上げるため、教育の強化を図った。

### 3. 歯科医師国家試験合格率について

本学における第102回歯科医師国家試験合格者数（平成21年3月27日発表）は、新卒者で86名（受験者数120名、合格率71.7%）であった。このことを受けて次年度以降、国家試験成績のなお一層の向上を図るべく学内での取組みを進めていく。

### 4. 在学生の態度規範向上等

学生に本学の建学の精神、教育方針、アドミッションポリシーを一層浸透させ、歯科医師として社会に貢献し奉仕する使命感と気概、専門的知識、技能、態度を修得するための着実な努力、国際的な視野に立って歯科医学の発展と歯科医療を担う意欲のある学生の育成を目標とした教育を展開した。

毎年、新入生に対して「新入生研修」を行い、本学に対する愛校精神を養っている。（平成20年は、4月7日（月）、8日（火）の両日に実施）

特に初年次教育では、「学長と語ろう」というゼミナール形式の授業を行った他、本学の特色ある教育として態度教育の「社会福祉施設体験学習」を行うことで、上記の目標の浸透を図った。

楠葉学舎における喫煙場所の標識板を新しく設置し、学生への指導方を徹底した。また、学生の生活態度を改める意味で、総代が授業開始時に立礼、挨拶の号令をかけるよう指導した。さらに学内標語として、「歯科大生として守るべき事柄」を掲示して、学生諸君の行動の指針とした。

#### 歯科大生として守るべき事柄

1. キャンパス内では教職員に対して、また学生間での挨拶を心がけよう。
2. 歯科大生として節度ある服装をしよう。
3. キャンパスは公共の場であるとの自覚を持とう。
4. 将来の医療人としての自覚を持ち、他者への思いやりを大切にしよう。
5. 地域住民の一員としての自覚と社会性を持とう。

#### 迷惑行為（違法駐車、くわえタバコ等）の禁止

6. 授業開始・終了時には立礼をしよう。
7. キャンパス内外の美化に努めよう。

大麻等の薬物乱用について、学長名による注意を喚起したうえで、第1学年から第5学年を対象に薬物乱用防止に関する講演会を次年度4月初旬に開催する計画を検討した。講師は大阪府健康福祉部薬務課から担当者を招くことになった。

## 5. 教員評価と学生からの授業評価

平成20年度のデータを基に教員評価が行われることとなった。

本学の「教員評価要項」は、教育活動、研究活動、臨床活動、学内活動、社会的活動、目標・態度・意欲などの評価領域にわたり、評価の方法など細かく定められている。また、学生からの授業評価は、教員評価委員会における審議を踏まえ、平成21年度に導入することにした。

## 6. 学生・研究者の国際交流

本学の第3学年3名が、平成20年8月6日から18日にかけて、本学との交流提携校であるオーストラリア・シドニー大学歯学部を訪問し研修を行った。

南方医科大学から同大学学長を含む5名の研究者が、平成20年4月24日から4月25日にかけて本学に来校訪問した。

上海交通大学口腔医学院から教員1名が、平成20年9月1日から11月10日にかけて、本学と共同研究を行った。

## 7. その他の新規事業（大学学部）

### ・再入学試験制度について

第6学年で退学した者を対象にした再入学試験制度の設置に向けて検討を行い、その申し合わせを定めて平成21年3月10日（火）に試験を実施した。

### ・教育G Pの申請について

文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム（教育G P）」へ次年度申請することを決定した。

## Ⅱ-b. 教学 - 研究 (大学・大学院)

### 1. 教育・研究を支える教職員人材の育成

ファカルティ・ディベロップメント (FD) については、以下のとおり開催した。平成20年度は、セミナー形式と宿泊形式で合計4回行われ、教員の資質向上に役立った。

- ・第1回 平成20年7月15日(火) 17時10分～(セミナー形式)  
テ ー マ 「よりよい学士試験問題の作成法」  
参加人数 98名  
場 所 大阪歯科大学天満橋学舎
  
- ・第2回 平成20年7月18日(金)～7月19日(土)(宿泊形式)  
テ ー マ 「カリキュラムプランニングのためのワークショップ」  
参加人数 38名  
場 所 コスモスクエア国際交流センター
  
- ・第3回 平成20年12月11日(木) 17時10分～(セミナー形式)  
テ ー マ 授業評価の解釈と活用  
参加人数 114名  
場 所 大阪歯科大学天満橋学舎
  
- ・第4回 平成21年1月16日(金)～17日(土)(宿泊形式)  
テ ー マ 歯学系CBT試験問題ブラッシュアップ  
参加人数 55名  
場 所 コスモスクエア国際交流センター

## 2. 文部科学省科学研究費補助金について

この補助金は、あらゆる独創的・先駆的な研究を発展させることを目的とする「競争的資金」である。

平成20年度における本学の採択件数は、以下のとおりであった。

なお、本学の教員の新規申請件数は、昨年度は128件で、平成20年度は157件に増加した。

基盤研究 (C)	20件
萌芽研究	1件
若手研究 (B)	8件
若手研究 (スタートアップ)	5件
採択件数合計	34件
補助金交付額	42,810,000円
間接経費	12,423,000円
合計	55,233,000円

## 3. その他の競争的資金

次の3件で、総額5,600,000円の競争的資金を獲得した。

### ・独立行政法人科学技術振興機構 (JST) 関係

#### ①平成20年度産学共同シーズイノベーション化事業 (顕在化ステージ)

1件 1,800,000円

#### ②平成20年度シーズ発掘試験 (発掘型) 委託研究費

1件 2,000,000円

### ・厚生労働省関係

#### ①平成20年度厚生労働省生育医療研究委託費

1件 1,000,000円

#### ②平成20年度厚生労働省科学研究費補助金 (研究分担)

1件 800,000円

#### 4. ハイテク・リサーチ・センター整備事業

「歯周病に対する戦略的研究」を事業名とした平成19年度からの継続事業である。現在、研究の成果へ向けての蓄積が続けられており、次年度には中間報告を行うことになっている。

#### 5. 大学・大学院関係新規事業

平成19年度の大学基準協会の大学評価・認証評価において、①大学院生への大学独自の経済支援体制の必要性が指摘された他、②研究支援職員の制度の創設が示唆された。これを受けて、②について、関係規程を整備した。

##### ・ティーチング・アシスタント

学部教育の充実を図り、大学院博士課程に在籍する学生に将来の教育、研究者のトレーニングの機会を提供するとともに、奨学に資することを目的に導入することとなった。

##### ・ポストドクトラルフェロー

研究嘱託として、大学院専攻科において、専門的研究に従事することで、優れた研究者の育成並びに後継者の養成に寄与する目的で導入することとなった。

##### ・リサーチ・アシスタント

これは、平成16年度に導入されたもので、本学で行うプロジェクト研究の補助的業務に従事する大学院博士課程に在籍する学生の奨学に資する制度であり、平成20年度は、「科学研究費補助金事業」、「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」、「産学共同シーズイノベーション化事業ステージ」の研究に対して、5名の大学院生が採用された。

##### ・大阪歯科大学教育研究論文目録

新たな論文検索システムを導入、教員評価の連動と教育研究論文目録（冊子体）の刊行に活用する。

- ・知的財産取得規程の制定とその運用

規程の制定に伴い、特許事業に係る経費の予算化を行った。

- ・中央歯学研究所の紀要作成

紀要の作成に着手し、次年度以降に刊行することになった。

### Ⅲ. 附属病院

#### 1. 「新病院情報システム」の導入と運用

平成20年1月から導入された新病院情報システムを円滑に運用することにより、診療効率化を図るとともに、システムに習熟しそのメリットをいかした収支改善及び経費削減に取り組んでいる。現在のところ、これまで発生したトラブルの修正、点検にあたっている。

#### 2. 病院財務の改革への取組み

「附属病院財務改善検討委員会」答申による病院財務の改革を軌道に乗せるべく検討を行った。

平成20年5月に、「本学附属病院運営の方向性」として、

- (1) 患者様の目線とニーズにあった診療体制の構築
- (2) 卒前、卒後の教育病院としての適正化
- (3) 病院財政の健全化に向けた取組み

が提案され、重点的課題として取り組むこととなった。

本学附属病院の特色として、疾患に応じて7つの「専門外来」を設置した。すなわち、「息さわやか（口臭）外来」、「白い歯外来」、「ドライマウス・ドライアイ外来」、「顎変形症外来」、「顎関節外来」、「口腔腫瘍外来」、「唇顎口蓋裂外来」であり、患者様の多様なニーズに応えている。

平成20年9月に「附属病院増収計画のための施策」として、物品調達及び物流の簡素化、建物保全管理体制の構築と設備運転管理業務の見直し、新病院医事会計システムによる保険請求の徹底化、中央技工室の業務合理化、病院医員制度の改善などの課題が提案され、具体化に向けた検討が行われている。

### 3. 歯科医師臨床研修・社会的貢献としての病診連携

平成20年度の本学の歯科医師臨床研修（平成18年度から義務化）は、プログラムS（単独型）38名、プログラムC（先発型）35名、プログラムC（後発型）35名のマッチングで開始された。本学の歯科医師臨床研修修了者数は、108名（受け入れ108名）で、平成21年3月23日（月）修了証書授与式を行った。

病診連携の面では、「病診連携講習会」として、前年度に引き続き本学附属病院と歯科医院との連携を目的に、平成21年2月21日（土）に「高齢患者の総義歯治療」と題して開催した。

### 4. 医療安全及び感染防止対策

院内感染防止マニュアル等の改訂を行い、大阪市保健所に「医療安全管理マニュアル」、「医療機器保守点検計画」、「院内感染防止マニュアル」を提出した。

医療安全への対応としては、「医療安全講習会」に、年2回の出席が義務付けられている。平成20年度は、「医療安全のための研修」（8回開講）、「院内感染対策のための研修」（8回開講）、「医薬品安全のための研修」（3回開講）、「医療機器安全使用のための研修」（1回開講）がそれぞれほぼ全員の医療従事者の参加で行われた。

### 5. その他の改善

新たな医療機器の導入としては、歯科用X線CT（3DX）による画像診断の開始があり、インプラント治療、歯内療法、歯周病診査などに利用される上記の医療機器が、中央画像検査室に設置された。

病院医員については、診療報酬に応じた報奨金制度を設けて、各自のモチベーションを高める方策を検討し、平成21年度から実施することになった。

#### IV. 教員組織改正に伴う対応

学校教育法の改正により、平成19年4月から大学の教員組織は、教授、准教授、講師、助教の職制となったが、本学では、教育・研究の専念義務の自覚を高め、各自の一層の資質向上を目指すことを目的として、平成20年度中に教員組織に関する独自の諸規程を整備し、平成21年4月1日から施行することとした。

改正のあらまは、以下のとおりである。

##### (1) 教授職に関する改正

###### 1) 教授職を2つの職制とする。(職制規程改正)

###### ①主任教授

講座・教室を管理統括し、学生教育指導・研究指導を行う。

###### ②専任教授

学生教育指導・研究指導を行う。講座・教室所属外に配属される場合は、当該部門の管理監督

###### 2) 教授の配置(教員の定員等に関する規程制定)

###### ①主任教授 講座又は教室

###### ②専任教授 講座又は教室以外の部門、講座を兼任することもできる。

###### 3) 教授の待遇(給与規程別表改正)

###### ①主任教授 従前の教授職と同様

###### ②専任教授 役職手当は5万円、その他は主任教授と同様とする。

###### 4) 教授職の選考(教授候補者選考委員会規程改正、教員選考規程制定)

###### ①主任教授 学内外の推薦公募により、教授選考委員会で2名ないし3名を選考し、主任教授会で1名に決定する。

###### ②専任教授 学内外の推薦公募により、教授選考委員会で1名を選考、主任教授会で信任投票により決定する。

###### 5) 教授会の改正(教授会規程改正)

###### ①主任教授会を置く

###### ②教授会の構成員 学長、主任教授、専任教授

###### ③主任教授会の構成員 学長、主任教授

④教授会の審議事項 教育研究の基本に関する事項、学長の諮問に関する事項

⑤主任教授会の審議事項 従前の教授会審議事項

6) 学長候補者選考 (学長候補者選考規程改正)

①学長候補者の最終選考 主任教授会構成員を選挙人とする。

(2) 准教授、講師、助教の改正 (教員の定員等に関する規程制定)

1) 准教授、講師、助教の配置

講座又は教室以外の部門についても、定員の範囲内で配置することができる。

2) 准教授、講師、助教の異動

講座又は教室に所属していた准教授、講師、助教が講座又は教室以外に異動になった場合は、従前の講座又は教室の定員を異動の人数分減じる。

(3) 病院教員の改正 (病院教員規程改正)

1) 病院教員の昇任及び新規任用は行わない。

現行の病院教員は、教員任用の基準に基づき、順次職制を大学教員に移行していく。

## V. 情報化、IT化、市民との交流への対応

### 1. ホームページによる情報発信の充実

新着情報を掲載することにより、受験生や保護者の求める情報を的確に紹介する態勢を整えた。また、英文ホームページのリニューアルを行い、海外からのアクセスにも対応できるようになった。

### 2. IT・視聴覚機器による学生サービスの充実

教務関係では、前年度から進められているモバイルサービスにより、授業等の連絡事項の情報を発信して、学生への伝達の迅速化を図った。

教育学術ネットワーク支援事業 (ODU net) は、今年度も私立大学等経常費補助金特別補助を得て、講義映像の配信、CBT練習問題システムなどIT

を活用し、「歯学教育の動機付け」、「自学自習能力の育成」を実践し、問題解決型教育への応用を図った。また、「講義自動収録システム」の活用、「シラバスの改善」などの教育・学習方法の改善を図った。なお、講義室内のAV機器改修工事を実施し、学生教育のための重要なツールの充実を図った。

### 3. 図書館サービスの充実

図書館システムのリプレイスにより、以下のサービスを開始した。

- ①携帯電話による開館日案内・蔵書検索・利用状況照会
- ②WebによるILLの申込・購入希望図書申込（登録者）
- ③雑誌蔵書検索結果から電子ジャーナル・ホームページへのリンク
- ④蔵書検索機能の充実（図書表紙画面表示・他サイトの同時検索）

なお、①については、私立大学等経常費補助金特別補助を得て、図書館情報のスムーズな利用が可能となり、学生の学習機会の拡大が図られた。また、図書館ホームページもリニューアルされ、より利用しやすくなるとともに、英語版蔵書検索も掲載された。

さらに、開館時間の延長（本館の平日午後9時までの夜間開館の通年実施及び後学期における日曜開館）を行い、学生の学習意欲向上に大いに貢献した。

### 4. 市民との交流—公開講座

16年目を迎えた公開講座では、プレ創立100周年記念事業として位置づけ、  
＜「8020運動」支援病院としての取組み 今、専門外来では！＞をメインテーマに、「顎変形症外来」、「白い歯外来」、「息さわやか（口臭）外来」、「ドライマウス・ドライアイ外来」の4つのサブテーマで開催した。天満橋・枚方両講座で延べ967名の受講者があり好評を博した。

また、枚方市と本学を含む6大学が構成する「学園都市ひらかた推進協議会」の事業の一つである「平成20年度コミュニティカレッジ」（平成20年10月開催）に本学教員が講義を担当した。

## VI. 両専門学校の将来像

平成20年4月に専門学校財政改善等検討委員会により「専門学校の短期大学化の検討について」との中間報告が理事会へ提出された。

これを受けて、歯科技工士専門学校・歯科衛生士専門学校の将来像を検討するための調査年度として、他校の事例収集を基に、次年度に向けて改革の方向を検討した。次年度以降も引き続き慎重に検討を行う。

## VII. その他の重点計画

### 1. 創立100周年記念事業について

「創立100周年記念事業企画委員会」（委員長：理事長・学長）のもとに、「創立100周年記念事業企画小委員会（教授会部門）」、「創立100周年記念事業企画小委員会（理事会部門）」が設置され、両委員会において慎重に審議の結果、記念式典の日時・場所及び創立100周年記念のテーマを理事会へ上程、以下のとおり決定した。

#### <記念式典の日時・場所>

- ・日 時 2011(平成23)年11月11日(金)
- ・場 所 大阪国際会議場 リーガロイヤルホテル

#### <テーマ>

誇りと誓い — 蓊蓊たる大樹へ—

大阪歯科大学創立100周年

#### <趣旨>

大阪歯科大学100年の伝統と実績に対する<誇り>と、これからの100年への新たな<誓い>を発揚することにより、<蓊蓊(しんしん)たる大樹>のように、多くの若く有能な歯科医師を輩出し、歯科医学界と社会に大きく根を張る大学を目指す。

\*しんしん【蓊蓊】①草木の葉の盛んにしげるさま。(「広辞苑」より)

## 2. 第22回日本歯科医学会総会について

平成24(2012)年10月、11月開催予定であり、本学が主幹校に決定した。平成20年度は、総会開催に関わる事前調査を行い、参考資料を収集した。平成21年度に逐次、実施体制の整備を行う予定である。

## 3. 3学舎（楠葉・牧野・天満橋）の管理費についての見直し

財務コンサルタントを導入したことにより、平成20年度において3学舎の管理費（保守契約、業務委託費等）の削減があり、一定の効果を上げた。

今後とも物件経費の削減には継続的に取り組んでいく。

## 4. その他の事業－施設・設備関係

### ①牧野学舎相撲場新築工事

老朽化著しい相撲場を平成20年度中に新築した。また、東側民家沿いのフェンス（200メートル）の移設、トイレ施設の改修を併せて行った。

### ②牧野学舎体育館アスベスト関係工事

1・2階階段部分及び2階ホールの天井部分に使用されているアスベストを除去のうえ補修工事を行った。

### ③牧野学舎トレーニング機器整備工事

福利厚生施設であるODUアネックス内のトレーニングルームに設置している上記機器を新規に取替え、学生諸君の体力増進を図った。

### ④大学事務システムの更新

人事・経理の事務業務に関わるコンピュータシステムの大幅な更新を検討し、事務の効率化を図ることとなった。

[附属資料]

1. 平成 20 年度学生数 ( ) は女子 (平成 20 年 5 月 1 日現在)

大学	第 1 学年	1 3 3 ( 4 8 )	大学院	第 1 学年	2 8 ( 1 2 )
	第 2 学年	1 3 5 ( 5 1 )		第 2 学年	1 8 ( 4 )
	第 3 学年	1 3 0 ( 5 2 )		第 3 学年	7 ( 2 )
	第 4 学年	1 1 3 ( 4 6 )		第 4 学年	<u>2 5 ( 1 0 )</u>
	第 5 学年	1 2 5 ( 4 8 )			7 8 ( 2 8 )
	第 6 学年	<u>1 5 8 ( 6 3 )</u>			
		7 9 4 ( 3 0 8 )			

歯科技工士専門学校	1 年	1 2 ( 3 )	専攻科 1 年	6 ( 2 )
	2 年	<u>2 1 ( 5 )</u>	専攻科 2 年	<u>8 ( 3 )</u>
		3 3 ( 8 )		1 4 ( 5 )

歯科衛生士専門学校	1 年	2 4 ( 2 4 )
	2 年	3 0 ( 3 0 )
	3 年	<u>3 9 ( 3 9 )</u>
		9 3 ( 9 3 )

2. 第 102 回歯科医師国家試験の結果 平成 21 年 3 月 27 日合格発表

	(総 数)			(新 卒)			(既 卒)		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
本学	185	114	61.6	120	86	71.7	65	28	43.1
全国	3,531	2,383	67.5	2,516	1,915	76.1	1,015	468	46.1

3. 平成 20 年度入学試験状況

[大学]	(志願者)	(合格者)	(入学者)
推薦入試	2 8	2 7	} 1 2 8
一般一次	2 4 5	1 0 0	
一般二次	4 4	1 0	
[大学院]			
一次	1 6	1 6	} 2 8
二次	6	5	
三次	8	8	
			* 三次入学許可 7 名

4. 平成 21 年度入学試験状況

[大学]	(志願者)	(合格者)	(入学者)
推薦入試	24	18	128
一般前期	250	100	
一般後期	69	18	
[大学院] 一次	19	18	28
二次	8	7	
三次	4	4	

5. 平成 19 年度会計実査 平成 20 年 4 月 2 日 (水)

6. 大学・大学院入学式 平成 20 年 4 月 4 日 (金) 午前 10 時 (於：楠葉学舎)

7. 平成 20 年度大学新入生研修会

平成 20 年 4 月 7 日 (月) 午前 9 時 (於：牧野学舎)

4 月 8 日 (火) 午前 9 時 (於：楠葉学舎)

8. 大学特待生の採用

8 名が採用され、授業料の半額を免除

9. 大学学内奨学生選考

12 名の学生に対して総額 12,550,000 円の奨学金を貸与

10. 平成 20 年度教職員子弟の大学授業料減免

14 名減免 計 14,000,000 円

11. 平成 19 年度監事監査 平成 20 年 5 月 8 日、9 日 (於：楠葉学舎)

12. 解剖体慰霊祭 平成 20 年 5 月 16 日 (金) 午後 2 時 (於：四天王寺)

13. 平成 20 年度共用試験歯学系 C B T 並びに O S C E

C B T 平成 20 年 6 月 3 日 (火) 午前 9 時 30 分 (於：楠葉学舎)

O S C E 平成 20 年 6 月 15 日 (日) 午前 10 時 (於：天満橋学舎)

14. 大学父兄会・共済会総会

平成 20 年 6 月 28 日 (土) 午後 1 時 父兄 276 名が出席 (於：楠葉学舎)

15. 全日本歯科学学生総合体育大会壮行会 平成20年7月12日(土)(於:楠葉学舎)
16. 平成20年度FD  
 ・研修会(於:コスモスクエア国際交流センター)  
 平成20年7月18日(金)、19日(土) 38名出席  
 平成21年1月16日(金)、17日(土) 55名出席  
 ・セミナー(於:天満橋学舎)  
 平成20年7月15日(火)午後5時10分～午後6時10分 98名出席  
 平成20年12月11日(木)午後5時10分～午後6時30分 114名出席
17. 平成21年度臨床研修歯科医の募集定員  
 単独型研修方式50名、複合型研修方式110名
18. 第40回全日本歯科学学生総合体育大会(当番校:岩手医科大学)  
 平成20年7月28日(月)～8月10日(日) 本学は第5位
19. オープンキャンパス(於:楠葉学舎)  
 第1回 平成20年7月29日(火)午後1時～午後4時 51名参加  
 第2回 平成20年8月25日(月)午後1時～午後4時 73名参加  
 第3回 平成20年11月2日(日)午前10時～午後12時30分 60名参加
20. 第16回公開講座  
 ・メインテーマ プレ100周年記念事業  
 ー大阪歯科大学は、2011年 創立100周年を迎えますー  
 「8020運動」支援病院としての取り組み 今、専門外来では!  
 ・日程 天満橋講座 平成20年8月23日、30日、9月6日、13日  
 受講者延べ444名(於:天満橋学舎)  
 枚方講座 平成21年2月21日、28日、3月7日、14日  
 受講者延べ523名(於:楠葉学舎)  
 (時間はいずれも午後2時～4時)
21. 平成20年度地方父兄会(奈良県)  
 平成20年8月23日(土)午後2時 37名出席(於:橿原ロイヤルホテル)
22. 平成20年度備品調査 平成20年8月25日、26日
23. 第6学年父兄懇談会 平成20年9月6日(土)午後1時(於:楠葉学舎)

24. 実験動物慰霊祭 平成 20 年 9 月 26 日 (金) 午後 1 時 30 分 (於：牧野学舎)
25. 平成 20 年度大学祭 (テーマ：FRIENDS)  
 体育祭 平成 20 年 10 月 25 日 (土) (於：牧野学舎)  
 文化祭 平成 20 年 11 月 1 日 (土)、2 日 (日) (於：楠葉学舎)
26. 平成 20 年度自衛消防訓練 楠葉学舎 平成 20 年 11 月 17 日  
 牧野学舎 平成 20 年 11 月 13 日  
 天満橋学舎 平成 20 年 12 月 22 日
27. 平成 20 年度全学教職員忘年慰労会 平成 20 年 12 月 26 日 (於：天満橋学舎)
28. 平成 21 年新年互礼会 平成 21 年 1 月 5 日 (於：楠葉学舎)
29. 平成 20 年度定年退職最終講義  
 新池教授 平成 21 年 2 月 14 日 (土) 午後 2 時 30 分～ (於：楠葉学舎)  
 川添教授 平成 21 年 2 月 14 日 (土) 午後 4 時 30 分～ (於：楠葉学舎)
30. 病診連携講習会  
 平成 21 年 2 月 21 日 (土) 午後 3 時 30 分 (於：天満橋学舎)  
 小正 裕教授「高齢患者の総義歯治療 ～臨床の現場から～」
31. 故 佐川 寛典 元理事長・学長「お別れの会」  
 平成 21 年 2 月 26 日 (木) 午後 2 時 (於：楠葉学舎講堂)  
 学生・教職員、同窓生、国公立歯科大学・歯学部代表者、関係学会、  
 各歯科医師会、外部団体関係者 700 名参列
32. 平成 20 年度解剖体遺骨返還式  
 平成 21 年 3 月 5 日 (木) 午後 2 時 24 体 (於：楠葉学舎)
33. 卒業式並びに大学院学位認証式  
 平成 21 年 3 月 13 日 (金) 午前 10 時 (於：楠葉学舎)
34. 平成 20 年度歯科医師臨床研修修了証書授与式  
 平成 21 年 3 月 23 日 (月) 午後 2 時 30 分 (於：天満橋学舎)

35. 学位授与

学位記番号 甲第 616 号～ 640 号 25名に学位記授与  
学位記番号 乙第 1506 号～1529 号 24名に学位記授与

36. 平成 20 年度法人理事会・法人評議員会・教授会・大学院研究科会議

1) 法人理事会 16 回開催

(平成 20 年 4 月 24 日、5 月 29 日(2 回)、6 月 26 日、7 月 24 日、  
8 月 28 日、9 月 25 日、10 月 30 日、11 月 27 日、12 月 2 日(持ち回り)、  
12 月 11 日、12 月 26 日、平成 21 年 1 月 29 日、2 月 26 日、3 月 26 日(2 回))

2) 法人評議員会 2 回開催

(平成 20 年 5 月 29 日、平成 21 年 3 月 26 日)

3) 教授会 19 回開催

(平成 20 年 4 月 9 日、4 月 23 日、5 月 14 日、6 月 11 日、7 月 9 日、  
8 月 13 日、9 月 10 日、10 月 8 日、10 月 22 日、11 月 12 日、11 月 26 日、  
12 月 10 日、12 月 24 日、平成 21 年 1 月 15 日、1 月 28 日、2 月 10 日、  
3 月 11 日、3 月 19 日、3 月 27 日)

4) 大学院研究科会議 12 回開催

(平成 20 年 4 月 23 日、5 月 28 日、6 月 25 日、7 月 23 日、8 月 27 日、  
9 月 24 日、10 月 22 日、11 月 26 日、12 月 24 日、平成 21 年 1 月 28 日、  
2 月 25 日、3 月 25 日)

37. 本学関係 叙位・叙勲・褒章の受章者、受賞等

1) 叙位

名誉理事長・名誉学長・名誉教授  
元理事長・学長 故 佐川 寛典 従四位 共 4 名

2) 叙勲

専門 29 回 武田 謙二 三重県 瑞宝双光章 共 14 名

3) 褒章

専門 31 回 上田 豊実 奈良県 藍綬褒章 共 4 名

4) FDI (世界歯科医師連盟) 理事就任

副学長・国際交流部長 神原 正樹 教授 (平成 20 年 9 月 26 日付)

5) 日本歯科医学会会長賞受賞

小児歯科学講座 教授 大東 道治

6) FDI/UNILEVER POSTER AWARD 受賞

小児歯科学講座 助教 渡邊 京子

7) 文部科学省医学教育等関係業務功労者表彰

附属病院 歯科衛生士長 宮本 美千子

38. 川添堯彬 理事長・学長  
日本私立大学協会理事就任  
(任期：平成20年4月1日～平成24年3月31日)  
日本私立歯科大学協会監事就任  
(任期：平成20年3月27日～平成21年3月31日)  
歯科医療研修振興財団監事就任  
(任期：平成20年3月28日～平成21年3月31日)

39. 教職員数(平成21年3月1日現在：404名)

- 1) 大学 386名  
教員数 203名  
学長(兼教授)1名、教授26名、准教授27名、講師43名、  
助教83名、病院教授3名、病院准教授8名、病院講師9名、  
病院助教4名  
職員数 183名  
事務・技術79名、医療101名、労務3名
- 2) 歯科技工士専門学校 9名  
教員7名、事務2名
- 3) 歯科衛生士専門学校 9名  
教員6名、事務3名

40. 人事

1. 就任

- 1) 法人役員(平成20年4月1日付)  
常務理事 田中 昭男(教学兼財務担当)  
理事 諏訪 文彦(教学兼人事担当)、覚道 健治(人事担当)
- 2) 法人評議員  
西川 泰央、小正 裕(平成20年4月24日付)  
下村 謙一郎(平成21年1月29日付)
- 3) 歯科衛生士専門学校校長  
末瀬 一彦(歯科技工士専門学校校長兼任)
2. 名誉教授称号授与 中村 正明、井上 宏
3. 歯科衛生士専門学校名誉校長称号授与 矢尾 和彦

4. 退任・退職

- 1) 退任  
法人評議員 堀 亘孝、新池 孜
- 2) 退職

- ①定年退職  
化学教室 教授 新池 孜 共 4名
- ②依願退職  
薬理学講座 助教 中塚 隆介 共 18名
5. 昇任  
歯科理工学講座 教授 武田 昭二 共 14名
6. 任用
- 1) 大学教員  
歯科東洋医学室 博士(歯学) 方 一如 共 19名
- 2) 大学院教員  
解剖学 大学院教授 諏訪 文彦 共 90名
- 3) 職員  
経理課 課長 中尾 昌彦 共 9名
7. 移籍  
耳鼻咽喉科学講座→総合診療・診断科 助教 青木 秀哲 共 2名
8. 総合診療部診断科と口腔診断科の統合による所属変更  
総合診療・診断科 病院教授 小出 武 共 11名
9. リサーチ・アシスタント採用  
歯科矯正学 RA 箕浦 沙恵 共 5名
10. 所属異動  
施設課附属病院中央監視盤室 田中 修 共 6名
11. 兼務  
歯科衛生士専門学校事務室長 池田 良則 共 2名
12. 懲戒解雇  
附属病院歯内治療科 病院医員 原田 茂 (平成20年11月21日付)
13. 委嘱
- 1) 顧問 井上 宏 名誉教授 (平成20年6月1日～平成21年3月31日)
- 2) 客員教授  
関西医科大学 名誉教授 宇山 昌延 共 8名
- 3) Honorary Visiting Professor  
中国西安第四軍医大学口腔医学院 将軍院長 趙 鈇民
- 4) Visiting Professor  
大韓民国慶熙大学校歯科大学 教授 朴 榮國 共 8名
- 5) 平成20年度講師(非常勤) 解剖学講座 清水 孝治 共 417名  
平成20年度大学院講師(非常勤) 解剖学 江原 雄二 共 48名  
(平成20年4月1日現在)

6) 大学役職者

副学長	豊田 紘一
副学長	神原 正樹
総務部長	小正 裕
教務部長	田中 昭男
学生部長	諏訪 文彦
図書館長	堂前 尚親
附属病院病院長	覚道 健治
大学院研究科科长	大浦 清
中央歯学研究所所長	福島 久典
教育情報センター所長	林 宏行
国際交流部長	神原 正樹 (兼任)
附属病院副病院長	森田 章介
附属病院副病院長	小谷順一郎
附属病院副病院長	上田 雅俊 (以上 平成 20 年 4 月 1 日付)

7) 嘱託 医療法人稲門会 岩倉病院 精神科医 森 悦子 共 11 名

8) 医療嘱託 口腔インプラント科 新井 是宣

9) 病院医員 保存修復科 吉松真依子 共 51 名

10) 各種委員会委員

①大学関係

総務部委員会	委員長 小正 裕、委員 11 名
教務部委員会	委員長 田中 昭男、委員 10 名
学生部委員会	委員長 諏訪 文彦、委員 6 名
カリキュラム委員会	委員長 田中 昭男、委員 8 名
ブラッシュアップ委員会	委員長 林 宏行、 常任委員 7 名、委員 19 名
共用歯学 C B T 委員会	委員長 西川 泰央、委員 26 名
図書館運営委員会	委員長 堂前 尚親、委員 4 名
図書資料選択委員会	委員長 堂前 尚親、委員 30 名
教育情報センター管理運営委員会	委員長 林 宏行、委員 17 名
学術研究奨励助成金交付審査委員会	
兼 共同研究助成審査委員会	委員長 田中 昭男、委員 4 名
国際交流部委員会	委員長 神原 正樹、委員 5 名
廃棄物処理委員会	委員長 小正 裕、委員 8 名
健康管理委員会	委員長 堂前 尚親、委員 9 名
公開講座委員会	委員長 川合進二郎、委員 7 名
組換え DNA 実験安全委員会	委員長 福島 久典、委員 6 名

ヒトゲノム遺伝子解析研究倫理審査委員会

委員長 田中 昭男、委員 9名

動物実験委員会

委員長 西川 泰央、委員 9名

医の倫理委員会

委員長 覚道 健治、委員 9名

FD委員会

委員長 森田 章介、委員 7名

セクシュアル・ハラスメント防止委員会

委員長 川添 堯彬、委員 7名

サイバーキャンパス審議委員会

委員長 豊田 紘一、委員 13名

ホームページ委員会

委員長 豊田 紘一、委員 13名

大学院委員会

委員長 大浦 清、委員 7名

中央歯学研究所委員会

委員長 福島 久典、委員 12名

学内食堂管理運営委員会

委員長 諏訪 文彦、委員 12名

共用歯学OSCE実行委員会

委員長 山本 一世、委員 15名

教員評価委員会

委員長 川添 堯彬、委員 7名

②法人関係

財務企画委員会

委員長 川添 堯彬、委員 16名

財務企画委員会病院の運営に関する事項部会

部会長 覚道 健治、部会員 1名

財務企画委員会牧野学舎将来計画作業部会

部会長 村上 勝、部会員 10名

財務企画委員会給与部会

部会長 新田 孟、部会員 7名

財務企画委員会経営部会

部会長 田治米保夫、部会員 16名

退職資金管理運営委員会

委員長 新田 孟、委員 6名

業者登録選考委員会

委員長 村上 勝、委員 9名

学術研究奨励基金管理運営委員会

委員長 田治米保夫、委員 3名

環境管理委員会

委員長 覚道 健治、委員 9名

枚方資料センター管理運営委員会

委員長 覚道 健治、委員 11名

予算委員会

委員長 田治米保夫、委員 18名

人事委員会

委員長 新田 孟、委員 11名

自己点検運営委員会

委員長 川添 堯彬、委員 7名

自己点検実施委員会

委員長 川添 堯彬、委員 18名

ODUウェルネス・ホール管理運営委員会

委員長 覚道 健治、委員 14名

大阪歯科大学創立100周年記念事業企画委員会

委員長 川添 堯彬、委員 15名

大阪歯科大学創立100周年記念事業企画小委員会（理事会部門）

委員長 三谷 卓、委員 14名

大阪歯科大学創立 100 周年記念事業企画小委員会（教授会部門）

	委員長	豊田 紘一、委員 21 名
	副委員長	神原 正樹、小正 裕
広報委員会	委員長	川添 堯彬、委員 3 名
人権啓発推進委員会	委員長	川添 堯彬、委員 18 名
個人情報保護委員会	委員長	川添 堯彬、委員 14 名
個人情報保護委員会大学部門委員会	委員長	豊田 紘一、委員 10 名
個人情報保護委員会病院部門委員会	委員長	覚道 健治、委員 9 名
個人情報保護委員会事務部門委員会	委員長	中村 廣志、委員 9 名
専門学校財政改善等検討委員会	委員長	三谷 卓、委員 9 名
大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会	委員長	田治米保夫、
	副委員長	村上 勝、委員 7 名

11) 学年指導教授並びに助言教員

学年指導教授	1 年 (133 名)	西川 泰央、2 年 (135 名)	池尾 隆
	3 年 (130 名)	川合進二郎、4 年 (113 名)	松本 尚之
	5 年 (125 名)	林 宏行、6 年 (158 名)	山本 一世
助言教員	1 年	上村 守 共 6 名、2 年	隈部 俊二 共 6 名
	3 年	武田 昭二 共 6 名、4 年	神 光一郎 共 6 名
	5 年	神原 敏之 共 6 名、6 年	高津 兆雄 共 6 名

41. 学外活動

1) 教授海外視察

歯科放射線学講座 教授 清水谷 公成

2) 教員海外研修

生化学講座 助教 吉川 美弘

3) 教員海外出張

口腔衛生学講座 教授 神原 正樹 共 116 件

4) 教員学外派遣

生化学講座 講師 合田 征司（新規）共 28 件

5) 国際交流

①学長関連

- ・川添学長他 1 名（期間：平成 20 年 8 月 6 日～8 月 11 日）

四川大学新病院落成式に出席並びに特別講演

- ・川添学長（期間：平成 20 年 9 月 27 日～9 月 29 日）

日中歯科医学大会 2008 にて研究発表並びに第四軍医大学口腔医学院  
院長と会談

- ・川添学長他 2 名（期間：平成 20 年 10 月 9 日～10 月 12 日）  
北京大学口腔医学院新病院落成式に出席
- ・川添学長他 1 名（期間：平成 20 年 12 月 27 日～12 月 30 日）  
南方医科大学口腔医学院、新学舎視察及び学長会談
- ②中国五大学との共同研究
  - ・受入  
上海交通大学口腔医学院 1 名（期間：平成 20 年 9 月 1 日～11 月 10 日）
  - ・派遣  
第四軍医大学口腔医学院（期間：平成 20 年 9 月 25 日～9 月 30 日）  
口腔病理学講座 田中教授、和唐講師  
四川大学華西口腔医学院（期間：平成 20 年 12 月 13 日～12 月 16 日）  
歯科放射線学講座 清水谷教授、古跡准教授  
北京大学口腔医学院（期間：平成 21 年 3 月 7 日～3 月 12 日）  
解剖学講座 竹村准教授、上村助教
  - ・その他  
南方医科大学より鄭木明校長他 4 名本学表敬訪問  
(平成 20 年 4 月 24 日、25 日)
- ③平成 20 年度シドニー大学歯学部訪問及び研修  
参加者 3 名（第 3 学年）（期間：平成 20 年 8 月 6 日～8 月 18 日）

#### 42. 補助金・助成金

- 1) 平成 20 年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付（6 件）  
助成金交付額 3,500,000 円
- 2) 平成 20 年度大阪歯科大学共同研究助成金交付（1 件）  
助成金交付額 9,700,000 円
- 3) 平成 20 年度科学研究費補助金交付（文部科学省）
  - ・基盤研究(C) 20 件
  - ・萌芽研究 1 件
  - ・若手研究(B) 8 件
  - ・若手研究（スタートアップ）5 件 計 34 件 補助金交付額 42,810,000 円  
(間接経費 12,423,000 円 合計 55,233,000 円)
- 4) 平成 20 年度私立大学等経常費補助金交付額 436,875,000 円
- 5) 平成 20 年度私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）交付額 8,183,000 円
- 6) 平成 20 年度私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））交付額 3,239,000 円
- 7) 平成 20 年度臨床研修費等補助金交付額 174,680,000 円

8) 国際交流助成

口腔病理学講座 講師 和唐雅博 共 51 名に対し 12, 167, 822 円の助成

9) 寄贈

大阪歯科大学第 16 回卒業生 (天章会) 共 4 件合計として 1, 000, 000 円

43. 諸規程

- 1) 大阪歯科大学大学院学則 (一部改正)
- 2) 大阪歯科大学学位規程 (一部改正)
- 3) 博士 (歯学) 学位論文の学会発表並びに未印刷公表博士 (歯学) 学位論文の原稿記載及び印刷公表に関する細則 (一部改正)
- 4) 大阪歯科大学専攻生規程 (一部改正)
- 5) 専攻科研究生に関する規程 (一部改正)
- 6) 大阪歯科大学大学院研修生規程 (施行)
- 7) 大阪歯科大学ポストドクトラルフェローに関する規程 (施行)
- 8) 大阪歯科大学大学院歯学研究科奨学金貸与規程 (施行)
- 9) 学生厚生費請求に関する内規 (一部改正)
- 10) 学校法人大阪歯科大学定年退職者の再雇用に関する規則 (施行)
- 11) 大阪歯科大学附属病院歯科特別診療室規程 (施行)
- 12) 大阪歯科大学歯科技工士専門学校学則 (一部改正)
- 13) 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校学則 (一部改正)
- 14) 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校名誉校長称号授与規程 (施行)
- 15) 学校法人大阪歯科大学嘱託規程 (一部改正)
- 16) 大阪歯科大学ティーチング・アシスタントに関する規程 (施行)
- 17) 大阪歯科大学における科学研究費補助金直接経費の使用取決 (一部改正)
- 18) 大阪歯科大学特別聴講生に関する申し合わせ (施行)  
(以上 平成 20 年 4 月 1 日付)
- 19) 教職員定年規程 (一部改正)  
(平成 20 年 4 月 1 日付、平成 21 年 1 月 1 日付)
- 20) 院内診療情報管理運営委員会規程 (一部改正)  
(平成 20 年 5 月 14 日付)
- 21) 大阪歯科大学附属病院医療安全管理委員会規程 (一部改正)
- 22) 大阪歯科大学附属病院事故調査委員会規程 (施行)
- 23) 大阪歯科大学附属病院医療安全管理室運用規程 (一部改正)  
(旧大阪歯科大学附属病院リスクチェッカー運用規程)  
(以上 平成 20 年 6 月 11 日付)
- 24) 学校法人大阪歯科大学資産運用規程 (施行)  
(平成 20 年 6 月 26 日付)

- 25) 学校法人大阪歯科大学就業規則（一部改正）
- 26) 学校法人大阪歯科大学給与規程（一部改正）  
(以上 平成 20 年 9 月 25 日付、平成 21 年 1 月 1 日付)
- 27) 休日の振替実施要領（施行）
- 28) 学校法人大阪歯科大学定年退職者の再雇用に関する規則（一部改正）  
(以上 平成 21 年 1 月 1 日付)
- 29) 大阪歯科大学教員任用規程（一部改正）
- 30) 教員候補者資格審査に関する申し合わせ（施行）
- 31) 任期制教員の再任用基準に関する申し合わせ（施行）
- 32) 教授候補者資格審査に関する申し合わせ事項（廃止）
- 33) 再入学申合せ事項（施行）  
(以上 平成 21 年 1 月 15 日付)